



緑ヶ丘区文化祭 多くの作品が来場者を魅了する

緑ヶ丘区文化祭が2月26・27日、緑ヶ丘区(江平民生区長)公民館で行われました。

公民館には、絵画や写真、花のほか幼児が描いた絵や、小学生が作ったペットボトルのつるし飾り、ふれあいサロンで作られた作品など数十点が展示されました。

会場は、友達同士や親子連れ、また区外から訪れた住民たちでにぎわい、作品づくりの思い出話などに花を咲かせていました。



▲私が作ったペットボトル飾りだよ

東ヶ丘区文化祭 区民の力作が展示

東ヶ丘区文化祭が2月26・27日、東ヶ丘区(山田亮区長)公民館で行われました。

公民館には区民が趣味で作った短歌や花、習字、絵画などの作品が展示されていました。中には子どもたちが作った絵や工作もありました。

訪れる人たちは作品の見事な出来栄に感心し、じっくりと鑑賞していました。

子どもから大人までたくさんの区民が参加し、作り上げた文化祭でした。



▲作品を鑑賞する来場者

菊陽中2年生 郷土料理「あんもちだご汁」づくりに挑戦

郷土料理学習会が3月1・3日、菊陽中学校で行われました。

学習会では、菊陽町生活研究グループ員が、菊陽中学校2年生の生徒たちに、菊陽産の野菜を使ったあんもちだご汁づくりを教えました。

このあんもちだご汁は、初めて食べる生徒たちからも家でも作ってみたいと声上がるほど好評でした。生徒たちは楽しみながら郷土料理学習を学ぶことができました。



▲からいもをつぶしてあんもち団子のあんづくり

菊陽町交通安全母の会 熊本県大津警察署長表彰

大津警察署管内で交通安全活動を行っている菊陽町交通安全母の会(原田紀会長)が3月1日、大津警察署長から感謝状を贈られました。

交通安全母の会はこれまで多年にわたり地域における交通事故防止に献身的に尽力され、さらに交通安全ミニバレーボール大会などのイベントの際には交通安全教室を開催するなど、独自の交通安全活動を展開して、交通安全思想の普及・啓発に努められています。



▲交通安全母の会役員と後藤三雄町長

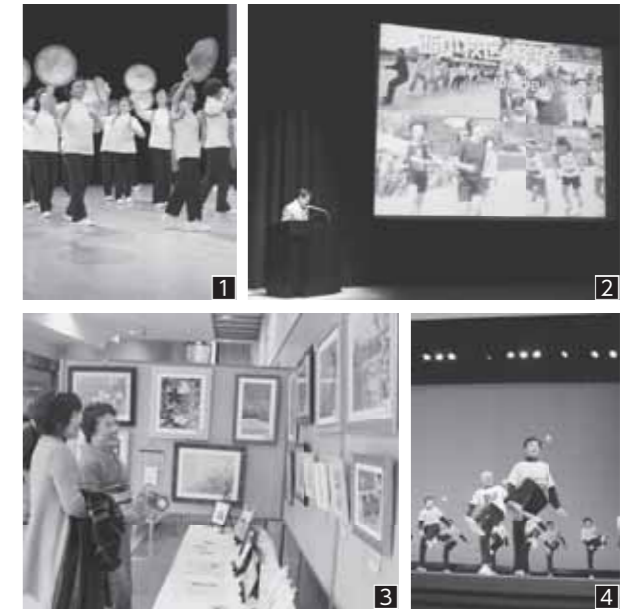
平成22年度菊陽町公民館大会 地域の活動、講座の成果を堂々と発表

菊陽町公民館大会が2月20日、菊陽町図書館ホールで開催され、さまざまな取り組みが発表されました。

今年の地域活動推進モデル公民館発表は、曲手区と新山区からありました。曲手区の坂田輝明さんは、「地区の行事への全員参加を図り、区民の連帯感と親睦を一層深める活動」として、曲手神社大祭、曲手区体育祭、鼻ぐり井手での実演販売および公園の美化作業などの成果を発表しました。新山区の岩崎元視区長は、「子どもから大人まで参加し、協調・協同の意識向上へとつながる活動」として、廃品回収、新山夏祭り、秋祭り&文化祭、拾えば街が好きになる運動などの成果を発表しました。

これらの活動は、どれも住民同士が力を合わせたからこそ行うことができました。地区住民の連帯感と地区への愛着が伺えます。

中央公民館講座発表では、民謡教室など8講座の講座生が舞台に立ち、いきいきとした顔で発表。ホワイエには書道や写真など素晴らしい作品が展示され、たくさんの人が鑑賞していました。



1カラフルな笠を掲げる「花笠音頭」2地域活動の成果を報告する岩崎新山区長3素晴らしい作品を鑑賞する来場者4音楽に合わせて生き生きとした太極柔力球

上村満男さん(馬場楠)が 葉たばこ生産優秀耕作者賞を受賞

平成22年度熊本県たばこ耕作組合表彰式が2月24日、熊本全日空ホテルニュースカイで開かれました。

本町の上村満男さん(馬場楠)は、1 μ 当たりの代金が県内2位という好成績を収められ、葉たばこ生産優秀耕作者賞を受賞されました。

上村さんは、「地域や家族と協力して土づくりや栽培管理を徹底的に行い、一生懸命取り組んできたことが良い結果につながった」と喜びを語られました。



▲表彰を受けた上村さん

菊陽町は優れたお茶の産地です 熊本県茶振興大会

熊本県茶振興大会が2月23日、県経済連ホールで開催されました。

菊陽町は、県内でも優れたお茶の産地として有名で、多くの生産者が表彰を受けました。県経済連茶生産流通協議会茶共進会個人賞蒸製玉緑茶の部【一等】福本勝さん(戸次)【二等】森田俊郎さん(曲手)、福本美智子さん(戸次)優良共販賞 上田茂政さん(中代)、鎌田博昭さん(出分)、福本勝さん(戸次)、森田俊郎さん(曲手)



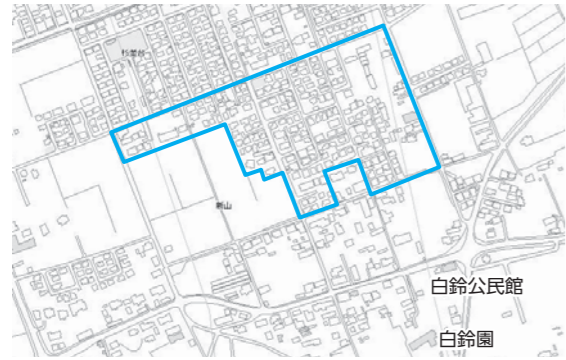
▲表彰を受けた森田さん、上田さん、鎌田さん



「北新山区」が新しく誕生しました

北新山区設立総会が2月27日、白鈴公民館で開催され、新山区の中で世帯数が多い北新山班が「北新山区」として新しく誕生しました。新山区からは、昭和51年に杉並台自治会、昭和57年に東ヶ丘区、平成10年に新成区、平成19年に境の松区が区分しており、今回の区分は5回目になります。

北新山区は、新山3丁目(一部地域を除く)を区域とし、約230世帯が居住しています。今後、北新山区は公民館建設を目標に独自の活動を始められます。



▲北新山区の区域

薬剤師・原田義文さん(三里木北)が青年海外協力隊員として海外へ

薬剤師である原田義文さん(三里木北)が、青年海外協力隊員としてパプアニューギニアへ派遣されることになり、3月16日、後藤町長を表敬訪問されました。原田さんは8年間の薬剤師経験があり、3月から2年間現地へ赴任します。「現地は薬品の保管方法などが上手くできていないと聞いている。自分の経験を生かしていきたい」と語られました。町からは激励として餞別と町のはっぴを贈呈しました。原田さんの活躍を期待しています。



▲現地での抱負を語る原田さん(左)

菊陽町人権教育研究大会 家族の絆を大切に

菊陽町人権教育研究大会が3月5日、菊陽町図書館ホールで行われました。

東部町民センターの「ふれあい劇団」が人権劇「がんと一発～家族の絆～」を熱演後、アニメ「サザエさん」のマスオさん役の声優である増岡弘さんが、数々の経験の中から心に残る逸話を基に「すべてのものに心を込めて」と、言葉やちょっとした行動の大切さを話されました。訪れた人たちは「講演を聞いて大変良かった」と話していました。



▲ふれあい劇団の人権劇「がんと一発～家族の絆～」

地域交流事業 「南小校区民のつどい」

地域交流事業「南小校区民のつどい」が3月5日、南部町民センターで開催され、校区内外から約120人が参加しました。南小6年生が司会進行を務め、午前中は認知症の講話およびビデオ鑑賞と、「清正公の偉業を今に」清正流の工(鼻ぐり井手)の講話がありました。その後、地域ボランティアが作った昼食で交流会があり、午後は、子どもたちが地域に対する思いや感謝を発表しました。さまざまな発表があり、参加者から学ぶことの多い体験になりました。



▲認知症の話を真剣に聞き入る参加者

第34回菊陽町子ども会駅伝大会 1本のたすきをつなぎ完走果たす

第34回菊陽町子ども会駅伝大会が3月13日、菊陽杉並木公園ふれあい広場で開催されました。

町内各地区の子ども会から総勢25チームが参加し、公園内および周辺のコースで競いました。

会場では息を切らしながらも一生懸命走る子どもたちに保護者から力強い声援がかけられていました。

【規定】①鉄砲小路A ②4町内子ども会A ③三里木北子ども会 【オープン】①馬場子ども会 ②南方子ども会 ③緑ヶ丘子ども会A



▲規定の部で優勝した鉄砲小路Aチーム

第23回菊陽町ふれあい駅伝大会 白慢の健脚を競い合う

菊陽町ふれあい駅伝大会が3月13日、菊陽杉並木公園スポーツ広場を発着とする6区間14kmで行われ、19チームが健脚を競いました。

午前10時30分に第一走者が一斉にスタート。選手は苦しい表情を見せながらも、少しでも早くたすきをつなごうと力走しました。

【一般】①ウイング ②OB's～勝手に黄金世代～ ③花房RCとあじまん 【中学生】①菊陽中A ②武蔵ヶ丘中A ③武蔵ヶ丘中B ④菊陽中B



▲一斉にスタートする第一走者

菊陽町企業・事業者交流促進研修会 町内企業・事業者間の交流が図られる

菊陽町企業・事業者交流促進研修会が2月4日、菊陽町図書館ホールで行われました。

研修会では、カレーハウスCoCo壱番屋特別顧問の宗次徳二さんと(株)福田農場ワイナリー代表取締役の福田興次さんから講演があり、参加者は「厳しい状況下でどう対応すべきか」「地域に根ざしたまちづくりのポイント」などを真剣に聞き入っていました。

交流会では、講師を交えて情報や意見の交換が行われ、町内企業・事業者間の交流が図られました。



▲カレーハウスCoCo壱番屋特別顧問の宗次徳二さんの講演

菊陽町の農業をもっと元気に！ 第17回菊陽町担い手育成推進大会

第17回菊陽町担い手育成推進大会が3月10日、菊陽町図書館ホールで開催され、農業関係者など100人が参加しました。地産地消をテーマとした試食会では、色とりどりの自慢の加工品が出展されました。

また、A-1グランプリ2009大賞受賞者「株式会社さかうえ」の坂上隆さんが「勘に基づく農業からの脱却！」と題し、今までの農業経営の見える化の取り組みについて熱く語られ、参加者の農業経営に多くの刺激とヒントを与えてくださいました。



▲講演をする坂上隆さん